

令和7年度 事業報告

一般社団法人福島県建設業協会

令和7年度事業報告

〔 自：令和 7年4月 1日
至：令和 8年3月31日 〕

(国の動向)

令和7年の日本経済は、米国の関税引き上げによる影響を受けながらも、内需を中心とした緩やかな回復が続いていた。しかし、物価高の継続により個人消費の回復が抑制されており、賃上げや最低賃金の引き上げによって、物価上昇を上回る所得増を早期に実現し、長引く物価高を乗り越えていくことが重要な課題となっている。

建設業界においては、資材価格の高止まりや人件費の高騰に加え、施工単価の上昇に伴う工事発注件数の減少傾向など、経営環境は厳しさを増している。

加えて、令和8年2月に発生した米国・イスラエルによるイラン攻撃は、中東情勢を急激に悪化させた。これにより原油価格の高騰や精製品の確保難など、日用品から建設資材に至るまで多大な影響を及ぼしており、サプライチェーンへの影響は依然として先行きが見通せない状況にある。

また、令和7年も全国的に豪雨や記録的な猛暑など、自然災害の激甚化・頻発化が続いた。埼玉県八潮市での下水道管破損や京都市での上水道管破損による事故は、インフラ更新の遅れがもたらすリスクを象徴する出来事となった。高度成長期に整備された施設が寿命を迎える中、公共インフラの更新は全国的に急務となっている。

一方、令和7年度政府当初予算は、一般会計で115兆1,978億円（前年度比2.3%増）を計上。公共事業費は6兆858億円（同0.04%増）と13年連続で6兆円台が確保され、治水対策、交通ネットワーク整備、老朽化対策等への予算が充てられた。補正予算では2兆873億円が計上され、物価高騰対策のほか、重要インフラの防災・減災、国土強靱化の推進に重点的な支援が実施された。

国土交通省においては、「国民の安全・安心の確保」「持続的な経済成長の実現」「地方創生2.0」を3本柱として、令和6年度補正予算と一体的に取り組みを推進した。令和7年6月に閣議決定された「第1次国土強靱化実施中期計画（事業規模20兆円強）」に基づき、令和8年度以降も計画的なインフラ整備が進められることとなった。

さらに、賃上げに向けた取り組みでは、令和8年3月には公共工事設計労務単価が14年連続で引き上げられたことに加え、下請事業者への適切な労務費支払いを促す建設業法などの法改正が行われるなど、業界全体での処遇改善が推進された。

(福島県の動向)

福島県の令和7年度一般会計当初予算は1兆2,817億円（前年度比3.5%増）で、うち土木・農林水産関連の公共事業費は2,255億円（同14.4%増）となった。復興・創生事業として、帰還困難区域の解除に向けたインフラ整備や復興祈念公園事業により大幅増となった他、通常事業も防災・減災対策の着実な推進により増加し、維持補修事業には630億円が計上された。

東日本大震災から 14 年が経過し、災害復旧工事は帰還困難区域を除き概ね完了した一方、令和 7 年度は「第 2 期復興・創生期間」および「国土強靱化 5 か年加速化対策」の最終年度を迎え、次なるステージを見据えた施策が重点的に推進され「ふくしま復興再生道路」等の整備が進められた。令和 7 年 8 月の小名浜道路開通に続き、令和 8 年 3 月には国道 288 号船引バイパスが開通するなど、広域道路ネットワークの形成が着実に進展した。

県土木部では「福島県土木・建築総合計画」に基づき「安全・安心」など 7 つの重点目標に取り組みとともに、「ふくしま建設業振興プラン」を通じて DX 導入支援や担い手確保に関連する施策が進められた。

(当協会の取り組み)

当協会では、時間外労働の上限規制への対応や週休二日の定着、生産性・安全性の向上に取り組むとともに、「福島県建設業協会ビジョン 2018」に基づき、会員企業の経営力強化、CCUS（建設キャリアアップシステム）普及、SDGs 推進などを積極的に展開した。復興事業に関しては、完遂に向けた施工体制の強化に努めるとともに、復興係数の継続を国等へ強く働きかけた結果、令和 8 年度も措置が継続されることとなった。

要望活動では、全建、東北連合会、建産連等と連携し、予算確保や積算基準の改定等を要望したほか、県土木部との意見交換会を通じて、適正工期の設定や工事書類の簡素化を求めた。土木技術委員会では、工期設定における課題の解決や「工事提出書類簡素化ガイドライン」の周知徹底及び一層の簡素化などの提案を行った。また、建築技術委員会での議論を踏まえ、建築設備関係団体が連携して工期設定等の課題解決に向けた要望を行うなど、様々な機会を通じ発注者との意見交換を積極的に開催した。

入札制度においては、資材高騰などを踏まえ、令和 8 年度より条件付一般競争入札における発注標準金額の引き上げと総合評価方式等における適用金額の改正のほか、災害対応に関する評価では、「災害時における応急対策業務の広域的な支援に関する協定」に基づく出動実績も評価されることになるなど、当協会の要望を踏まえた見直しが行われ、受注環境の改善が図られた。

担い手確保の取り組みについては、高校生を対象とした現場見学会や資格取得支援の実施に加え、道の駅での広報事業では、新たに「猪苗代」、「いわき・ら・ら・ミュウ」に建設業情報コーナーを開設したほか、当協会が日本大学工学部で開催した「ふくしま・けんせつフェア 2025」には 2 日間で約 4,000 人が来場した。また、南相馬市・会津若松市で福島県が開催した「Out of KidZania」への参画を通じ、小中学生や保護者に建設業への理解を深めてもらう機会を創出した。加えて、若年層の入職促進を目的として、協会ホームページの全面リニューアルを行い、会員企業の紹介や求人情報の提供など情報発信の充実を図った。

さらに、若手技術者や県職員を対象とした「土木初任者研修」「土木実務者研修（基礎コース）」等の開催、ICT・建設 DX の推進に向けた講習会の開催や、多世代同居・近居推進事業の受託など、計画された諸事業を実施した。

今後も関係団体と密に連携し、地域社会の安全・安心を支える「地域の守り手」として、諸課題の解決に邁進していく。

なお、令和 7 年度における諸事業の詳細な実施状況は以下のとおりである。

【重点目標実施報告】

重点目標	実施事項	主な実施内容
I. 県土の復興及び防災・減災、国土強靱化への対応	1. 復興及び防災・減災、国土強靱化への対応	<ul style="list-style-type: none"> (1) 復興係数の継続を国・県等に要望した。 (2) 必要な社会インフラとしてふくしま復興再生道路及び地域連携道路、復興再生基盤整備事業、港湾整備の推進に取り組んだ。 (3) 津波被災地のまちづくり等を支援するインフラの整備促進に取り組んだ。 (4) F-REI等、関係省庁の事業の推進について、関係機関と連携を図るとともに地元企業の活用を要望した。 (5) 第1次国土強靱化実施中期計画に基づいた各種施策の推進を要望した。 (6) 「福島県土木・建築総合計画～安全・安心、豊かさを次代につなぐ県土づくりプラン～」の推進に協力した。
II. 会員企業の資質向上による社会基盤の品質向上	1. 多様化する社会ニーズに対応するための技術力の強化	<ul style="list-style-type: none"> (1) 土木技術委員会、建築技術委員会において、施工上の問題点等について発注者との意見交換会や要望を行った。 (2) 工期の設定等の働き方改革や施工上の問題点等について土木技術委員会、建築技術委員会等において調査・研究を行った。 (3) 会員企業の技術力強化を図るため設計施工・積算関係、ICT施工、BIM/CIM等の建設DXに関する研修・講習会を開催した。
	2. 良質な建設サービス提供のための経営力強化	<ul style="list-style-type: none"> (1) 計画的・安定的な公共工事予算の確保を国・県等に要望した。 (2) 改正品確法による多様な入札契約制度の導入・活用の観点から、インフラの維持管理、除雪などについて、地域の実情に応じた契約方式や共同受注方式の充実及び活用を国・県等に要望した。 (3) 会員企業の経営の安定・健全化を図るため、会員企業にとって有益な各種講習会を開催した。 (4) 会員企業におけるコンプライアンスの遵守、徹底を図るため、関係機関と連携して情報提供等を行った。

重点目標	実施事項	主な実施内容
		<p>(5) 適正な元請・下請関係を構築するため、下請取引の適正化や施工体制の確保、労働環境の改善について啓発を行った。</p> <p>(6) 会員企業の実情や意向を把握するため、「会員実態調査」を実施し、委員会等での検討や行政機関等に対する提言・要望に活用した。</p> <p>(7) 「入札制度等研究提案WG」において、入札・契約制度等の改善に向けた検討を行った。</p> <p>(8) 暴力団等の反社会的勢力の排除に向け「暴力団等排除対策協議会」を開催し、各関係機関との情報共有を図った。</p>
<p>Ⅲ. 働きやすい職場環境構築による担い手の確保・育成</p>	<p>1. 若年者や女性が働きやすく、入職しやすい職場環境の構築</p>	<p>(1) 建設関係学科の高校生等を対象とした現場見学会や現場実習、座談会を福島県と連携して開催した。また、土木施工管理技士等の資格取得を支援し、建設業への入職促進に寄与した。</p> <p>(2) 中学生に対して建設業への理解促進と高校進学時のミスマッチの解消を図るため、一部地域において職場体験学習へ参画した。</p> <p>(3) 若者にとって魅力ある職場環境づくりに関するセミナーや採用担当者向け研修会を開催し、会員企業の職場環境の改善に対する啓蒙と雇用の確保に努めた。</p> <p>(4) ふくしま建女会の活動等を通じ、全国の同種団体との連携のもとに女性の入職・定着促進や、だれもが快適な職場づくりに向けた各種活動を実施した。</p> <p>(5) 建設業のイメージアップや処遇改善、女性活躍、人材育成等、本会の担い手確保・育成に係る事業活動について、「担い手確保育成・組織体制等検討WG」において検討した。</p>
	<p>2. 働く人が誇りを感じられる建設業界の構築</p>	<p>(1) 発注者と合同による会員企業の若手技術者等を対象とした教育事業「土木初任者研修」、「土木実務者研修（基礎コース）」を実施した。また、「建築初任者研修」の開始に向けてカリキュラム等の検討を行った。</p> <p>(2) 働き方改革を推進するため、時間外労働への対応状況を確認するとともに、週休二日制の普及や諸課題の解決に向けて各種事業に取り組んだ。</p>

重点目標	実施事項	主な実施内容
		<p>(3) 適正な工期設定、適切な賃金水準の確保、月単位の週休二日制、建設キャリアアップシステムの推進等について、「働き方改革等検討WG」において検討した。</p> <p>(4) 建設キャリアアップシステムの利活用を推進するため、情報提供や現場での操作・運用に関する研修を開催するとともに、カードリーダーの貸し出しを行い、導入に向けた支援を行った。</p> <p>(5) 若手社員の離職防止研修会（レジリエンス強化研修）を開催した。</p> <p>(6) 会員企業の技術者や技能者の知識やスキルの習得を支援するため、富士教育訓練センターの訓練コース等について情報提供を行った。</p> <p>(7) 建災防福島県支部との連携のもと、各種労働災害防止活動を推進し、建設業労働安全衛生マネジメントシステム及びリスクアセスメントの普及促進や労働安全衛生の啓蒙のための各種講習を実施した。</p>
IV. 維持管理分野の技術力向上による、地域生活の基盤づくり、及び建設業の専門的な知識を活用した地域の防災力強化	1. 産学官連携による、インフラ維持管理制度の構築	<p>(1) 地域建設業としてインフラの老朽化対策や長寿命化対策、国土強靱化の推進に取り組んだ。</p> <p>(2) 産学官の連携による「福島県建設業産学官連携協議会」において、地域の建設業が効率的に維持管理できる仕組みの構築に向けて取り組んだ。</p>
	2. 増大する既存インフラの維持に対応するメンテナンス技術者の育成	<p>(1) 産学官が連携した「ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会」において、土木初任技術者やインフラメンテナンス技術者の育成・確保に加え、建設系学科に在籍する高校生に対して、インフラメンテナンスの重要性の周知等を図った。</p>
	3. 地域に密着した災害時の迅速・適切な対応	<p>(1) 各行政機関との災害協定等に基づき、有事に備えるとともに、支援要請時には迅速かつ適切に対応した。</p> <p>(2) 国土強靱化の理念を踏まえ、事前防災及び減災、ハード・ソフト一体となった官民連携による防災体制の確立に取り組んだ。</p> <p>(3) 福島県道路啓開計画の策定に向けて協力した。</p> <p>(4) 本支部版BCPマニュアルを定期的に更新するとともに、会員企業のBCPや事業継続力強化計画等の策定を支援した。</p>

重点目標	実施事項	主な実施内容
<p>V. 情報の積極的な発信による地域経済の発展と賑わいづくりへの貢献</p>	<p>1. 建設業の魅力の発信</p>	<p>(1) 協会の事業活動等について、ホームページやSNSを用いて情報発信を行ったほか、ホームページの全面リニューアルを行い、会員企業の求人情報を掲載した。</p> <p>(2) 建設現場で活躍する若手技術者へのインタビュー動画等により建設業の仕事の内容や魅力について情報発信した。</p> <p>(3) 関係団体や学校の協力のもと「ふくしま・けんせつフェア 2025」を開催し、体験コーナーやパネル展示などを通じ建設業のPRを行った。</p> <p>(4) 子どもの職業体験イベントに参画し、小中学生や保護者を対象とした建設業の仕事内容を体験できるブースを運営した。</p> <p>(5) 国・県と連携し、道の駅等を活用した継続的な建設業の広報活動を県内3箇所（福島、猪苗代、いわき）へ拡大して実施した。</p>
	<p>2. 建設業の知識・経験を地域やまちづくりの取り組みへ還元</p>	<p>(1) 地方建設業のCSR活動の一環として、会員企業が行う災害復旧活動、防災活動、環境美化活動、社会奉仕活動、イメージアップ活動などを支援した。</p>
<p>VI. 第2次ふくしま建設業振興プランの推進並びに福島県建設業協会ビジョンの具現化等</p>	<p>1. 振興プランの推進並びにビジョンの具現化に向けた事業の実施及び検証</p>	<p>(1) 第2次ふくしま建設業振興プランの実現に向けて取り組んだ。</p> <p>(2) ビジョン2018で示された5つの行動体系に基づき、各種事業を計画的に実施した。</p> <p>(3) ビジョン2018の検証と新たなビジョンの策定を目的に、「福島県建設業協会ビジョン2028検討WG」において検討を開始した。</p>
	<p>2. SDGsへの取り組み</p>	<p>(1) 全建の「地域建設業SDGs経営指針」を参考とした研修会を開催し、会員企業のSDGs宣言を支援した。</p>

【実施事業報告】

事業区分	実施事業	具体的な事業
I. 公益目的支出計画における実施事業		
	1. 国土の保全等に資する地域貢献事業	<p>(1) 道路清掃奉仕作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①道路ふれあい月間 人員 2,058 人、車両 211 台 ②月間行事以外 人員 660 人、車両 134 台 <p>(2) 路面状況等の報告等社会資本の保全に関する作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「ロードレポーターに関する協定」に基づき協力 <p>(3) 建設工事からの暴力団等反社会的勢力の排除対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①第 15 回暴力団等排除対策協議会 令和 7 年 9 月 10 日（福島市） <ul style="list-style-type: none"> ・建設事業からの暴力団排除の取組について ・講演「暴力団情勢等について」 <p>(4) 防疫対策に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「家畜伝染病における防疫対策業務に関する協定」に基づき対応 <p>(5) 行政機関からの要請事業への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各行政機関との災害協定等に基づき対応 <p>(6) その他上記に付随する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①BCPの更新 <ul style="list-style-type: none"> ・本支部毎に定期的な見直しを実施 ②緊急時対応備蓄 <ul style="list-style-type: none"> ・発電機、飲料水、保存食（ごはん、ビスケット、缶詰パン）、暖房具 ③緊急時連絡体制 <ul style="list-style-type: none"> ・LINEWORKS による連絡網の充実強化
	2. 労働者の福祉の向上のための人材確保啓発等事業	<p>(1) 建設関係学科高校生等に対する現場見学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和 7 年 6 月 13 日 勿来工業高校（建築科）2 年生 26 名 田村市新病院建設工事・保健福祉厨房施設建設工事 都市公園（祈念）工事（建築）・福島国営追悼・祈念施設（仮称）管理施設建築工事 ②令和 7 年 6 月 17 日 郡山女子大学（生活科学科）2～4 年生 36 名 福島市新学校給食センター新築工事 ③令和 7 年 6 月 25 日 学法福島高校（普通科実務選択コース）1～3 年生 17 名 福島市新学校給食センター新築工事 ④令和 7 年 9 月 3 日 福島工業高校（建築科）2 年生 37 名 田村市新病院建設工事・保健福祉厨房施設建設工事 福島市市民センター整備事業

		<p>⑤令和7年9月10日 会津工業高校（建築インテリア科）2年生35名 天栄保育所新築工事 南会津地区特別支援学校整備工事</p> <p>⑥令和7年9月11日 喜多方桐桜高校（建設科）2年生14名 南会津地区特別支援学校整備工事 国道121号水門橋上部工事</p> <p>⑦令和7年9月17日 福島明成高校（環境土木科）1年生28名 福島西道路Ⅱ期事業</p> <p>⑧令和7年9月25日 郡山北工業高校（建築科）2年生35名 田村市新病院建設工事・保健福祉厨房施設建設工事 天栄保育所新築工事</p> <p>⑨令和7年9月29日 会津農林高校（環境科学科）1年生14名 国道121号水門橋上部工事 南会津地区特別支援学校整備工事</p> <p>⑩令和7年10月10日 岩瀬農業高校（環境工学科）1年生18名 国道399号・伊達橋復旧（架替）工事</p> <p>⑪令和7年10月20日 白河実業高校（建築科）2年生29名 福島県郡山合同庁舎整備工事 天栄保育所新築工事</p> <p>⑫令和7年11月11日 二本松実業高校（都市システム科）2年生34名 国道399号・伊達橋復旧（架替）工事</p> <p>⑬令和7年11月18日 相馬農業高校（環境緑地科）2年生16名 復興基盤総合整備事業</p> <p>⑭令和7年11月18日 磐城農業高校（緑地土木科）1年生28名 常磐自動車道付加車線事業 国道6号勿来トンネル（関山地区）工事</p> <p>⑮令和7年11月19日 平工業高校（土木環境工学科）2年生31名 常磐自動車道付加車線事業 国道6号勿来トンネル（関山地区）工事</p> <p>(2) 建設関係学科高校生等に対する現場実習</p> <p>①令和7年6月2日～6日（5日間） 白河実業高校（建築科） 2年生30名、受入会員企業11社</p> <p>②令和7年7月15日～17日（3日間） 郡山北工業高校（建築科） 2年生39名、受入会員企業10社</p> <p>③令和7年7月23日～25日（3日間） 福島工業高校（建築科） 2年生39名、受入会員企業14社</p> <p>④令和7年9月2日～5日（4日間） 福島明成高校（環境土木科） 2年生23名、受入会員企業6社</p>
--	--	---

		<p>⑤令和7年9月9日～11日（3日間） 二本松実業高校（都市システム科）2年生35名、受入会員企業9社</p> <p>⑥令和7年9月9日～11日（3日間） 会津農林高校（環境科学科）2年生6名、受入会員企業3社</p> <p>⑦令和7年9月9日～12日（4日間） 磐城農業高校（緑地土木科）2年生35名、受入会員企業7社</p> <p>⑧令和7年10月7日～9日（3日間） 会津工業高校（建築インテリア科）2年生36名、受入会員企業13社</p> <p>⑨令和7年10月15日～17日（3日間） 岩瀬農業高校（環境工学科）2年生27名、受入会員企業14社</p> <p>⑩令和7年10月21日～23日（3日間） 喜多方桐桜高校（建設科）2年生16名、受入会員企業7社</p> <p>⑪令和7年10月21日～23日（3日間） 勿来工業高校（建築科）2年生37名、受入会員企業9社</p> <p>⑫令和7年11月10日～13日（4日間） 平工業高校（土木環境工学科）2年生33名、受入会員企業9社</p> <p>(3) 若年者の資格取得に関する支援（バス借り上げに対する助成）</p> <p>①2級土木施工管理技術検定（学科）</p> <p>二本松実業高校（都市システム科）3年生22名 岩瀬農業高校（環境工学科）3年生14名 喜多方桐桜高校（建設科）3年生24名 平工業高校（土木環境工学科）3年生33名</p> <p>②2級建築施工管理技術検定（学科）</p> <p>福島工業高校（建築科）3年生35名 郡山北工業高校（建築科）3年生34名 白河実業高校（建築科）3年生21名 会津工業高校（建築インテリア科）3年生31名 勿来工業高校（建築科）3年生26名</p> <p>(4) 建設関係学科高校との情報交換</p> <p>①適宜、教職員と情報交換</p> <p>(5) 各種表彰事業</p> <p>①優良従業員表彰 令和7年7月、功労賞20名、勤労賞17名</p> <p>②雇用改善事業所表彰 令和7年5月、感謝状2社</p> <p>③建設関係学科高校生等の表彰 令和8年3月、県建設産業人材育成表彰 14校、14名</p> <p>(6) その他上記に付随する事業</p>
--	--	--

	<p>3. 社会資本の品質向上等に関する事業</p> <p>(1) 要望・建議に関する事業 (県土木部との意見交換会)</p> <p>①令和7年11月27日(福島市)、土木部幹部と正副会長、連協会長等が出席 [議 題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域建設業が地域の守り手として存続していくための方策について ・働き方改革の推進や生産性の向上について ・入札・契約制度等の改善について ・担い手の確保や育成について <p>等45項目に関して意見交換、要望を行った。</p> <p>(国土交通省との意見交換会)</p> <p>①令和7年5月20日(福島市) 東北地方整備局及び県内各事務所長等と正副会長等が出席 [議 題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革の推進、福島県の建設業の将来展望等、5項目について意見交換した。 <p>②令和8年2月4日(郡山市) 国土交通省県内事務所長等と正副会長、品確協役員等が出席 [議 題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な事業の執行に向けて、発注や現場における課題等、10項目について意見交換した。 <p>(2) 技術の研鑽に関する講習会等の開催 (スキルアップ関係)</p> <p>①建設現場における若手育成のポイントを学ぶ講座 令和7年7月1日 (参加29名)</p> <p>②建築工事に係るスキルアップ研修会 令和7年11月5日 (参加38名)</p> <p>③建設現場における交通誘導員の安全講習会 1回目 令和7年9月22日 (参加89名) 2回目 令和7年12月11日 (参加60名)</p> <p>(設計施工・積算関係)</p> <p>①工事成績評定点アップの取り組み 令和7年9月9日 (参加46名)</p> <p>②コンクリート施工管理講習会 令和8年1月28日 (参加42名)</p> <p>(i-Construction・ICT関係)</p> <p>①ICT活用工事に関わる3次元設計データ作成体験会(初級者編) 令和7年8月6日 (参加15名)</p>
--	---

		<p>②令和7年度建設DX講習会（郡山） 令和7年7月30日（参加9名）</p> <p>③令和7年度建設DX講習会（いわき） 令和7年10月8日（参加13名）</p> <p>④建設業におけるデジタルリテラシー向上研修～バックオフィス業務改革～ 令和8年2月3日（参加19名）</p> <p>(3) 法令改正、技術的な情報等の情報収集のための説明会等への参加及び 情報発信等</p> <p>(4) その他上記に付随する事業</p>
II. その他事業（収益事業・共益事業）		
	1. 不動産賃貸等事業	
		<p>(1) 県建設センターの事務所等の貸与事業</p> <p>(2) ASP等の収益事業</p> <p>(3) 県建設センター長期修繕計画の策定</p>
	2. 建設業労働者の法定外労働災害補償及び退職金共済等に関する事務受託事業	
		<p>(1) 建設業労働者の法定外労働災害補償制度の普及促進に関する事業</p> <p>①建設業福祉共済団との特約に基づく「建設共済保険」の普及促進</p> <p>(2) 建設業退職金共済制度の普及促進及びその事務執行に関する事業</p> <p>①勤労者退職金共済機構との事務受託契約に基づく事務処理</p> <p>(3) 前払保証制度の普及促進に関する事業</p> <p>①東日本建設業保証（株）との業務受託契約に基づく普及促進</p> <p>(4) その他の事務受託事業及び上記に付随する事業</p> <p>①建設業経理検定試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上期 令和7年9月7日（福島市）177名 ・下期 令和8年3月8日（福島市）185名 <p>②建設業経理事務士特別研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4級 令和7年7月8日～9日（福島市）16名 ・3級 令和7年8月26日～28日（福島市）14名 <p>③建設キャリアアップシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同システムの広報・周知等 ・カードリーダーの貸し出し業務（利用会員数6社、利用回数延べ8回）
	3. 社会資本の品質向上のための調査研究啓発事業	
		<p>1. 要望・建議に関する事業</p> <p>(1) 技術委員会要望</p> <p>①建築技術委員会</p> <p>令和7年11月19日（福島市）</p> <p>建築設備3団体と福島県土木部との意見交換会を行い、以下の事項について要望した。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・週休2日確保工事、概成工期、ASP、遠隔臨場について ・入札制度について <p>(2) 県議会各党派 令和8年度県予算要望聴取会（建産連） 令和7年9月9日（福島市）会長、専務理事が出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共事業関係予算の安定的確保、インフラの長寿命化と適正な維持管理予算の確保、東日本大震災からの復旧・復興予算の継続確保、復興係数の継続、労務単価の更なる引き上げ、働き方改革の推進、繰越制度の柔軟な対応・施工の標準化、ダンピング防止、官民共同の技術者育成 等31項目を要望した。 <p>(3) 令和8年度政府予算対策要望（建産連・自民党県連主催） 令和7年12月4日（東京都・関係省庁、自民党）専務が出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生に必要な社会インフラの予算確保と計画的推進、防災・減災・国土強靱化に向けた恒久的な予算の確保、被災地特例措置の継続、適正工期の確保及び業務の効率化、適正な利潤の確保 等12項目を要望した。 <p>(4) 福島県入札制度等監視委員会意見聴取 令和7年11月6日（福島市）会長、副会長、専務理事が出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札契約制度の改善に向けて、「有資格者名簿の格付け等級」、「条件付一般競争の地域要件や総合評価方式の各類型の金額区分」、「総合評価方式における地域貢献度評価の配点」、「地域の守り手育成方式の資格要件」の見直し等を要望した。 <p>(5) 民間工事の発注者に対する協力要請（福島労働局） 民間工事における時間外労働の削減、週休二日の導入等の働き方改革を推進するため、適正な工期設定等について県内経済団体に協力を要請した。</p> <p>①令和7年10月8日（福島市）建築技術委員長、専務理事が出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要請先 県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会 <p>②令和7年10月16日（郡山市）会長、副会長、専務理事が出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要請先 県経営者協会連合会 <p>③書面での協力要請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要請先 県宅地建物取引業協会、県建築士会、全日本不動産協会県本部、県建築士事務所協会、県建築設計協同組合 <p>(6) 公共工事における前払率の引き上げに関する要望 令和8年2月3日（田村市） 田村支部正副支部長、専務理事が出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田村市発注工事における前払金支出率の引き上げ（3割5分から4割）を要望した結果、引き上げが認められた。 <p>(7) 環境省発注工事における快適トイレの設置推進に向けた要望 令和7年12月2日（福島市・環境省福島地方環境事務所） 会長、副会長、専務理事が出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の環境省発注工事において、設置費用を積算計上するなど、快適トイ
--	--	---

		<p>レの設置推進を要望した結果、国交省同様の対応がなされた。</p> <p>(8) 防衛大臣に対する要望</p> <p>令和7年12月15日（東京都・防衛省）会長、副会長が出席 令和8年3月5日（福島市・県北支部） 副会長、建築技術委員長、専務理事が出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模工事等において、県内事業者（元請）の活用を要望した。 <p>(9) その他団体等主催の会議・要望に参画</p> <p>①東北の社会資本フォーラム（東北連合会）</p> <p>令和7年7月10日（秋田県）会長、副会長、専務理事等が出席 『決議要望』</p> <p>令和7年7月23日（東京都・関係省庁等）会長、専務理事が出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北の経済活力の回復に向けた社会資本整備予算の増額、国土強靱化実施中期計画に基づく十分な予算の確保、事業の推進 等7項目を要望した。 <p>②県土木部長への要望（建産連）</p> <p>令和7年7月31日（福島市・県庁）会長、専務理事が出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の維持管理予算の安定的確保と計画的な早期の発注、生産性向上の一層の推進、働き方改革の推進、入札制度における技術者の評価と公平・公正な制度の運用 等11項目を要望した。 <p>③東北建設業協会ブロック会議（東北連合会）</p> <p>令和7年10月20日（岩手県）会長、副会長、専務理事が出席 『決議要望』</p> <p>令和7年11月19日（東京都・関係省庁等）会長、専務理事が出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次国土強靱化中期計画の着実な推進、令和7年度大型補正予算の早期編成、建設資材の高騰対策、入札・契約制度の適正化、ICT活用への支援、担い手確保のための労働賃金確保、働き方改革推進、発注時期の平準化 等12項目を要望した。 <p>2. 経営改善等に関する事業</p> <p>(1) 各種委員会等事業</p> <p>①経営合理化委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第115回委員会 令和7年9月10日（福島市） 正副委員長の選任および経営合理化委員会・各ワーキンググループの取り組み、各ワーキンググループの正副座長の選任について協議した。 ・第116回委員会 令和8年3月10日（福島市） 講話「貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律の施行について」 東北運輸局福島運輸支局 運輸企画専門官 各ワーキンググループの取り組み状況・検討結果と今後の予定について協議した。また、白ナンバーダンプ規制に関する質疑応答を行った。
--	--	---

		<p>②入札制度等研究提案WG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第16回WG 令和7年9月29日(福島市) 福島県入札制度等監視委員会への提出意見・要望について協議した。 <p>③担い手確保育成・組織体制等検討WG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回WG 令和8年1月21日(福島市) 担い手確保・育成に向けた取り組みと今後の対応について協議した。 <p>④働き方改革等検討WG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第16回WG 令和7年11月27日(福島市) 働き方改革に関連する会員実態調査結果概要及び建設現場における熱中症対策に関するヒアリング結果を踏まえた今後の対応について協議した。 <p>⑤福島県建設業協会ビジョン2028検討WG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回WG 令和8年2月26日(福島市) 現ビジョンのアクションプランに基づいて実施している各種事業を確認し、現状分析を実施した。また、新ビジョン策定までのスケジュールや今後の協議内容等の整理を行った。 <p>⑥「ふくしま建女会」活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第18回幹事会 令和7年4月14日(郡山市) 令和6年度事業報告、令和7年度事業計画等について協議した。 ・建設ディレクター説明会 令和7年8月4日(Web開催) ・「ふくしま・けんせつフェア2025」への協力 重機試乗、女子座談会等 令和7年8月30日、31日(郡山市・日本大学工学部) ・国交省と建設産業女性定着支援ネットワーク全国会議への参加 令和7年9月30日(Web開催) ・中間貯蔵施設見学会及び第19回幹事会 令和7年10月3日(大熊町・南相馬市) Out of KidZania in ふくしま2025への協力、女性環境パトロールへの参加、女子生徒との座談会開催について協議した。 ・Out of KidZania in ふくしま2025への協力 令和7年10月25日、26日(南相馬市) 令和7年11月15日、16日(会津若松市) ・福島県建設業協会相馬支部女性環境パトロールへの参加 令和7年11月4日(相馬市) ・「建設産業における女性活躍・定着促進に向けた実行計画」に基づくフォローアップ会議への出席 令和8年3月5日(東京都) <p>(2) 教育研修事業</p> <p>①中堅社員研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回「若手への関わり方と人材育成・定着率向上研修」
--	--	---

		<p>令和7年6月4日（郡山市）51名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回「建設業の担い手確保・定着を図る働き方改革の理論と実践」 <p>令和7年11月25日（郡山市）27名</p> <p>②建設業新入社員合同研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回研修会 令和7年4月18日（郡山市）93名 ・第2回研修会 令和7年7月29日（郡山市）76名 ・第3回研修会 令和8年1月9日（郡山市）69名 <p>③採用担当者向け研修会</p> <p>令和7年5月27日（郡山市）17名</p> <p>④入職後フォローアップ研修</p> <p>令和7年9月9日（宮城県）12名</p> <p>⑤SDGsセミナー「建設業界におけるSDGsの動向と今後の展望」</p> <p>令和8年1月27日（郡山市）11名</p> <p>(3) 入職促進事業</p> <p>①建設関係学科生徒との座談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年12月16日 会津農林高校（環境科学科） 2年生13名 ・令和8年1月20日 相馬農業高校（環境緑地科） 2年生12名 ・令和8年2月6日 福島明成高校（環境土木科） 2年生16名 ・令和8年2月16日 磐城農業高校（緑地土木科） 2年生32名 ・令和8年2月19日 岩瀬農業高校（環境工学科） 2年生27名 ・令和8年2月24日 二本松実業高校（都市システム科） 2年生35名 <p>②建設業理解促進説明会への協力（福島県主催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年1月23日 川俣高校 1～2年生 27名 ・令和8年1月29日 猪苗代高校 1年生 8名 ・令和8年2月12日 喜多方桐桜高校 1年生 14名 ・令和8年2月18日 平工業高校 1年生 40名 ・令和8年2月26日 勿来工業高校 1年生 20名 <p>③実施調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規入職者意識調査 令和7年4月実施 ・生徒の就職意向調査 令和7年12月実施 ・定着促進状況調査 令和8年2月実施 ・高校生進路状況調査 令和8年2月実施 ・資格取得試験合格率調査 令和8年3月実施 <p>(4) 啓発・広報事業</p> <p>①協会ホームページのリニューアル・各種情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員企業概要及び求人情報紹介、協会事業案内など <p>②Instagramでの広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生等の建設現場見学会など <p>③ポータルサイト（建設channel）での広報</p>
--	--	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー（ふくしま建女会） ・若手社員インタビュー動画など ④マンガ・キャラクターを活用したPR <ul style="list-style-type: none"> ・各イベントでのノベルティ（シール、クリアファイル、アクリルフィギュア等）の配布 ⑤国・県等と連携した道の駅でのPR活動 <p>県内の道の駅（ふくしま、猪苗代、いわき・ら・ら・ミュウ）に建設業情報コーナーを開設し、建設業PR動画の放映や絵本コーナーを設け一般市民に対する建設業の理解や関心を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年6月7日～令和8年3月31日 ⑥ふくしま・けんせつフェア 2025 <p>重機試乗や測量作業体験等のブースを出展し、約4,000名の来場があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年8月30日、31日（郡山市・日本大学工学部） ⑦『Out of KidZania in ふくしま 2025』への出展 <p>小中学生を対象に建設業の仕事体験プログラム「建設機械シミュレーター操作」「測量機器の操作」「建設機械等の試乗」を出展した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年10月25日、26日（南相馬市） 参加者70名 ・令和7年11月15日、16日（会津若松市）参加者68名 (5) 調査研究事業 <ul style="list-style-type: none"> ①会員実態調査 令和7年7月実施 ②会員受注状況調査 毎月実施 (6) 情報収集・提供・啓蒙事業 <ul style="list-style-type: none"> ①経営改善等に関する情報収集・周知等 (7) 福島県建設業産学官連携協議会事業 3. 技術力向上に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 各種委員会等事業 <ul style="list-style-type: none"> ①土木技術委員会 <ul style="list-style-type: none"> ◇第42回委員会 令和7年10月28日 <ul style="list-style-type: none"> ・正副委員長の選出 ・工期設定の妥当性や工期延長に係る協議状況調査の結果及び今後の対応について ◇福島県土木部との意見交換 令和8年1月20日 <ul style="list-style-type: none"> ・工期設定の妥当性や工期延長に係る協議状況調査の結果について ・橋りょう補修工事に関するトラブル調査結果について ・建設現場における熱中症対策ヒアリング結果について ・福島県工事に関する提出書類の簡素化ガイドラインの更なる簡素化に向けた要望への対応について ②建築技術委員会 <ul style="list-style-type: none"> ◇第47回委員会 令和7年5月16日（福島市）
--	--	---

		<p>福島県発注工事の実態調査、東北地方整備局との意見交換等</p> <p>◇第48回委員会 令和7年9月17日(福島市) 建築工事における入札制度への意見集約、建築技術者教育事業等</p> <p>◇設計団体との意見交換会の開催 令和7年7月23日 工期の設定、設計・積算、BIM/CIMについて等</p> <p>◇福島県総合設備協会との意見交換会 令和8年3月17日(福島市) 福島県土木部及び設計団体との意見交換会の開催について</p> <p>(2) 教育研修事業 (土木初任者研修・土木実務者研修)</p> <p>①令和7年度土木初任者研修(修了者25名) 令和7年5月26日～6月6日 福島県建設センター、荒川運動公園(福島市) ※福島県土木部から2名の受講生を受け入れた。</p> <p>②令和7年度土木実務者研修・基礎コース(修了者22名) 令和7年4月14日～18日 福島県建設センター(福島市)、菅野建設工業(株)(本宮市) 福島・県北アスコン(伊達市)、トプコン白河トレーニングセンター(白河市)</p> <p>(3) 資格制度関連研修事業</p> <p>①監理技術者講習会(座学)への協力 ②監理技術者講習会(テレビ講座)への協力 ③技術士会等との連携による技術講習会</p> <p>(4) 調査研究等事業</p> <p>①空き家対策についての調査・研究・指導啓発に関する事業 ・「福島県空家等対策連絡調整会議」の構成員として、会議に出席し、各種情報を共有した。</p> <p>(5) 情報収集・提供・啓蒙事業 技術力向上等に関する情報収集・周知等</p> <p>(6) ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会事業</p> <p>4. その他の事業</p> <p>(1) 顧問弁護士による相談業務の開始</p> <p>(2) 関係官公庁との連携及び施策に対する協力事業</p> <p>(3) 全国建設業協会、東北建設業協会連合会、県建設産業団体連合会等の関係団体等に対する協力事業</p> <p>(4) 青年部事業への協力</p>
	4. その他事業	
		(1) 福島県多世代同居・近況推進事業(受託事業)

		<p>・個人住宅需要の喚起及び県の人口減少対策への協力の一環として、本事業の補助金交付事務を行った。</p> <p>補助金交付決定 128 件、39,085 千円（内訳 同居 33 件、近居 95 件）</p> <p>(2) 原子力発電所事故に係る損害賠償に関する情報提供事業</p> <p>(3) 県原子力損害賠償対策協議会への参画</p>
<p>Ⅲ. 法人の維持・運営に関する事業</p>		
	<p>1. 会議に関する事業</p>	<p>(1) 総会</p> <p>◇第 14 回定時社員総会 令和 7 年 5 月 20 日（福島市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度事業報告及び同決算承認に関する件 ・役員の変更に関する件 ・公益目的支出計画実施報告について ・令和 7 年度事業計画及び同予算について <p>(2) 理事会</p> <p>①第 68 回理事会 令和 7 年 4 月 25 日（福島市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度事業報告及び同収支決算に関する件及び公益目的支出計画実施報告について ・第 14 回定時社員総会等の運営に関する件 ・正会員の入会に関する件 ・福島県建設業協会青年部規程の一部改正に関する件 ・建設業の担い手確保・育成に関する取り組みについて ・顧問弁護士の委嘱契約の開始について ・福島県建設業協会青年部の活動報告について ・ふくしま建女会の活動報告について <p>②第 69 回理事会 令和 7 年 5 月 19 日（福島市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 14 回定時社員総会の運営に関する件 ・役員候補者に関する件 ・指定代表者の変更について <p>③第 70 回理事会 令和 7 年 5 月 20 日（福島市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長の選定に関する件 ・副会長の選定に関する件 ・専務理事の選定に関する件 ・常任顧問、顧問及び参与の委嘱に関する件 ・総会・理事会等における会長職務代行順序の決定に関する件 <p>④第 71 回理事会 令和 7 年 9 月 10 日（福島市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正会員の退会について ・正会員の指定代表者の変更について ・代表理事及び業務執行理事の職務状況報告について

		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの要望活動等について ・令和7年度本会事業の進捗状況報告について ・福島県発注工事の入札結果について ・協会ホームページコンテンツの更新について ・青年部主催事業の実施報告について ・暴力団排除対策協議会について <p>⑤第72回理事会 令和7年12月11日（福島市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第15回定時社員総会の開催日程に関する件 ・正会員の入会について ・正会員の会員資格停止処分の解除に関する件 ・正会員の指定代表者の変更について ・令和7年度本会事業の進捗状況報告について ・福島県発注工事の入札結果について ・建築技術者の育成について ・本会HPリニューアルに関する作業進捗状況について <p>⑥第73回理事会 令和7年3月25日（福島市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度事業計画及び同予算承認に関する件 ・第15回定時社員総会の開催に関する件 ・正会員の入会に関する件 ・建設業育成資金貸付契約に係る連帯保証に関する件 ・正会員の指定代表者の変更について ・代表理事及び業務執行理事の職務状況報告について ・建築初任者研修の開催について ・職員の採用について <p>(3) 監事会 令和7年4月24日（福島市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業並びに同収支決算の監査 <p>(4) その他必要に応じて会議を適宜開催</p> <p>(5) 関係団体主催会議等への参加</p>
	2. 組織の維持・強化に関する事業	
		<ul style="list-style-type: none"> (1) 公益法人改革に対する対応（公益目的支出計画の安定的実施等） (2) 会員との連絡協議及び懇談 (3) 各支部等に対する協力援助 (4) 会員等に対する慶弔の実施